

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式						
M343H201	医療データ解析・活用論 (Medical Data Analysis and Applications Theory)					先進領域融合科目群	対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態					
生命健康科学 コース選択、 臨床医工学コ ース必修	1	2	医学部先進医 療科学科	後期	火4	日本語		単独					
担当 教員	氏名 安徳 恭彰 E-mail antokuy@oita-u.ac.jp 内線 5162												
授業 の概 要	医学におけるEvidence Based Medicine(EBM)の実践には大量の診断・診療データ(ビッグデータ)の有効な解析・活用が必須である。しかし、これらのデータは各所に分散保管され、研究用に取りまとめることも容易ではない。本講義では、各所に分散保管されているデータを整理し、まとめる研究手法を学び、DPCデータ等の解析法等も含めた医療データの解析・活用法について学ぶ。												
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	データ解析に必要なデータクリーニング手法を学ぶ												
目標2	統計解析手法、ビッグデータ解析手法を学び、比較検討する												
目標3	多岐に分散保存されたデータをまとめ、解析するまでの流れを理解する												
目標4													
目標5													
目標6													
目標7													
目標8													
目標9													
目標10													
各DPへの関連度(計10)							5		3	1	1		
授業の内容													
1	データ解析手順：現場において0からデータ解析を始めるための手順について系統的に理解する												
2	データ加工手法：データの表記揺れなど目的に合わせ、利用できる形に加工する[課題2]												
3	データクリーニング手法：多岐に分散されたデータをまとめ解析に利用できる形にまとめあげる[課題3]												
4	データクリーニング演習：匿名化された実データを用い実際にクリーニング作業を行う[課題4]												
5	統計的データ解析：クリーニングされたデータを用いた統計解析を行う[課題5]												
6	ビッグデータ解析：ビッグデータを用いた解析を行う[課題6]												
7	DPCデータ、NDBオープンデータの解析[グループワーク]												
8	総論[グループワーク発表]												
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
ラ ッ ク ニ テ ィ ン グ	A:知識の定着・確認	A ; 演習、小テスト					工 夫 そ の 他 の						
	B:意見の表現・交換	B・C ; DPCデータ、NDBオープンデータへの応用											
	C:応用志向												
	D:知識の活用・創造												
授 業 時 間 外 学 修 の 内 容 と 想 定 時 間	準備学修	配付資料等の情報を必要に応じて予習する(10h)。											
	事後学修	課題によりデータ取りまとめから解析までを理解する(15h)。											
	想定時間合計												
教科書	資料を配布する												
参考書	資料を配布する												

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	課題1	10%										
	課題2	10%										
	課題3	10%										
	課題4	10%										
	課題5	10%										
	課題6	10%										
グループワーク発表	40%											
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											